

RefWorks

Making research easier

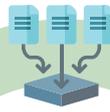


RefWorks は文献情報の管理や参考文献リストの作成、文献情報の公開・共有などの機能を有する文献管理ツールです。研究者や教職員だけでなく、文献管理ツールに不慣れな学生なども対象とした幅広い利用者の学術・研究活動をトータルでサポートします。



様々なデータベースで発見した文献情報や研究資料を簡単に収集・保存することができます。また、書誌の自動補完機能や全文検索機能により正確な引用を行うことができます。

収集



管理

一元化されたワークスペースに文献情報を統合します。タグ、フォルダ、全文検索、重複レコード削除（または検索）機能などにより文献情報を効率的に管理・活用することができます。



RefWorks

学術・研究活動をトータルでサポート



RefWorks 内の文献情報をもとに、参考文献リストを指定した書式で簡単に生成することができます。Word や Google Document 専用のプラグインを使えば文中引用と参考文献リストをまとめて生成することができます。

活用

RefWorks 内に収集した文献情報を、指定したユーザーや不特定多数、機関内の全ユーザーと共有したり、一般公開したりすることができます。ファイルやプロジェクトを共有することで、グループ研究を効果的にサポートします。

共有



文献情報の 収集

CiNii や Google Scholar, 医中誌 Web や PubMed などのデータベースや、ディスカバリーサービス、OPAC、一般向けのウェブサイトなどで見つけた文献情報・参考資料を、書誌項目ごとにきちんと分類して簡単に保存・管理することができます。

データベースから文献情報取り込み

CiNii, Google Scholar, OPAC, ディスカバリーサービスなどの検索結果画面から、簡単に文献情報を RefWorks にエクスポートします。

PDF ファイルから書誌抽出

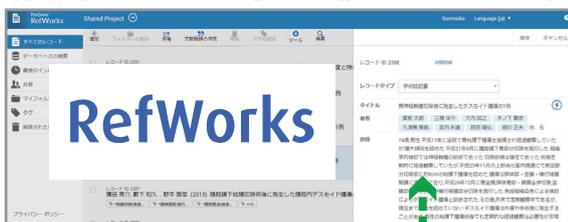
論文の PDF ファイルを RefWorks の画面上にドラッグするだけで、PDF から文献情報を読み取り RefWorks 内に登録し、PDF ファイル自体も保存します。

ウェブサイトから文献情報抽出

RefWorks 付属のブックマークレット“Save to RefWorks”を使えば、電子ジャーナルの本文ページやニュースサイトから簡単に文献情報を抽出します。



様々なリソースから文献情報をインポート



ディスカバリーインデックスによる書誌補完

Ex Libris のディスカバリーインデックスを活用し、PDF やウェブサイトからの抽出では不完全だった文献情報を簡単に補います。

文献情報の 管理

収集した文献情報を効率的に管理・参照するために、RefWorks では様々な機能を実装しています。

フォルダで分類して整理

収集したデータはフォルダを使って整理します。フォルダの中にさらにサブフォルダを設けることや、フォルダ単位で文献情報を共有することが可能です。

タグを使用した文献情報の管理

タグを使って文献情報の管理をします。出版社やデータベースの提供元が論文に付与したタグを、書誌情報と一緒に RefWorks にインポートしたり、ユーザー自身がタグを追加したりすることが可能です。



文献 PDF ファイルへのコメント・ハイライト

RefWorks に取り込まれた文献 PDF ファイルにはコメントやハイライトを追加することができます。共有機能と併用することで、複数のユーザー間での共同研究を実現します。



他にも、以下のような機能を使ってレコードを管理・参照することができます。

重複レコードの削除（または検索）機能

全文検索機能

RefWorks 内の文献情報を共有することが可能です。RefWorks 内に添付したファイルをグループで閲覧したり、共有された文献 PDF ファイルにハイライトやコメントを加えたりするなど、効率的なグループ研究をサポートします。プロジェクト（※）の共有も可能です。

フォルダ内の文献情報の共有

フォルダ内の文献情報を不特定多数や指定したユーザーに対して共有することが可能です。また、機関専用の共有フォルダを使い、機関内の全 RefWorks ユーザーに対して文献情報を共有することも可能です。

添付したファイルの共有

文献情報だけでなく、文献 PDF ファイルも共有することが可能です。共有されたファイルにコメントやハイライトを追加するなど、グループ研究にお役立ていただけます。

※管理者側でファイルの共有可否や利用権限を指定することが可能です。

プロジェクトの共有

プロジェクト単位で情報を共有することができます。これにより文献情報の追加や管理、参考文献リストの作成など RefWorks の機能全体をグループでご利用いただくことができます。

※プロジェクトとは？

「研究テーマによってアカウントを使い分けたい！」といった場合に便利に使える機能です。複数のプロジェクトを使い分けることで、実質的にはアカウントの使い分けと同じような作業環境をご提供します。

プロジェクト一覧

名前	作成	設定
Medical	2018年12月17日 14:04:45	設定
Project1 (最新)	2019年5月22日 16:48:41	設定
Project2	2020年1月29日 14:07:56	設定

Project1



Project2



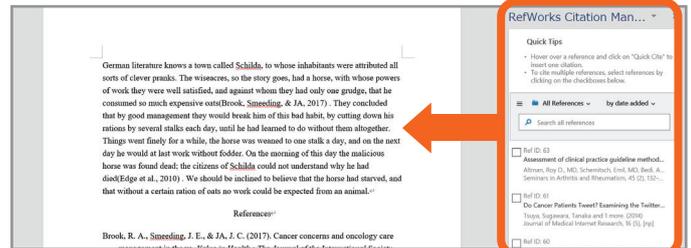
Project3



論文に掲載する「参考文献リスト」を、指定した書式で簡単に作成することができます。書式（出カスタイル）は約 5,900 種類（2019 年 12 月現在）をご用意しています。出カスタイルをユーザー自身で作成することも可能です。また、「参考文献リスト」と「文中引用」をまとめて生成するために、Word や Google Document 専用のプラグイン（※無料）もご用意しています。

RefWorks Citation Manager (RCM)

RCM は Microsoft Word 用のプラグインです。ブラウザで RefWorks を開かずに Word のファイルに直接指定した出カスタイルの引用記号や参考文献リストを選択・挿入することができます。また Google Document 用の同様のプラグインもご用意しています。



出カスタイル作成機能

現在 RefWorks では 6,600 以上の出カスタイルをご用意しています。既存のスタイルを転用し、ユーザー自身で新しい出カスタイルを作成することも可能です。出カスタイルの作成はサンメディアでも承っています。



6,600 以上の出カスタイルを利用できます

管理者機能

- 全文共有設定**
添付ファイルの共有可否や利用権限を設定できます。
- Dropbox との連携設定**
RefWorks に保存した添付ファイルを自動的に Dropbox に保存できます。
- ユーザーアカウントの無効化**
管理者はユーザーアカウントの有効/無効を設定することができます。
- リンクリゾルバとの連携設定**
リンクリゾルバへのリンクを設定できるので、本文を探したりするのに便利です。
- 利用統計の入手**
下記のような利用統計を取得することができます。
 - ページビュー、セッション数
 - 引用に使用された雑誌名の種類・回数
 - ユーザーが RefWorks 内に保管している文献の収録誌名およびレコード数
 - RefWorks を通じて閲覧されたフルテキスト収録誌の誌名および閲覧回数
 - RefWorks を通じてメタデータが閲覧された出版物の誌名および閲覧回数



その他の特徴

RefWorks には同時アクセス制限がありません。また、機関様のご要望に応じて様々な認証方式に対応しています。バージョンアップは自動で実施されます。

アクセス認証方法	IP 認証、ID/PW 方式
同時アクセス制限の有無	同時アクセス数無制限
リモートアクセスの可否	学認、ID/PW 等によるリモートアクセス可
リモートアクセスシステムの有無	有（ユーザー ID/PW）
シングルサインオンへの対応	学認、Shibboleth, Athens 等に対応
ウォークインユーザー利用の可否	否
卒業生の利用	可
対応言語	日本語、英語を含む 9 言語
利用統計提供の方法	管理者画面から取得可能
バージョンアップ	自動更新